

報告事項 2

令和 7 年度第 1 回徳島県学びの多様化学校の在り方
検討会議議事内容について

いじめ・不登校対策課

令和7年度 第1回徳島県学びの多様化学校の在り方検討会議について

1 開催日 令和7年6月30日（月）午後1時30分から午後3時まで

2 第1回検討会議の議事

- ・事務局より「徳島県の不登校の現状と不登校児童生徒への支援」「鳴門教育大学からの提案を踏まえた学びの多様化学校の在り方」について、資料を提示
- ・「鳴門教育大学からの提案を踏まえた学びの多様化学校の在り方」について、様々な立場で意見交換

3 各委員からの主な意見

- ・子どもたちの心の安心や学びの場を提供する人材が確保でき、本当の意味での居場所になる。
- ・地理的課題はあるが、コンテンツや施設、知見を活かした、質の高い教育を提供することは魅力的である。
- ・鳴教大の心理教育相談室と連携ができれば、家庭も含めて心のケアができ、スーパーバイザーの後ろ盾があることも心強い。
- ・他県の事例では、以前通っていた学校に近過ぎると生徒が通いづらいという声があり、遠いから行ける子どももいる。
- ・本来は市町村がつくるべきと思うが、県がリーダーとなり鳴教大につくることで、将来的には市町村に波及し、地域に応じた学びの多様化学校ができてほしい。

4 今後の予定

- ・7月8日～ 「学びの多様化学校」の必要性等について、県内公立小中学校に
17日 在籍する児童生徒とその保護者を対象にWebアンケートを実施
- ・7月22日 「第2回検討会議」において、「鳴門教育大学からの提案を踏まえた学びの多様化学校の在り方」について基本方針を協議